

三木ローター-週報

会長・稲見 秀穂 幹事・横尾加名子 S.A.A. 石井 盛久 クラブ会報委員会一発行

例会日・毎週金曜日12:30~13:30 例会場・三木商工会館4階大会議室 TEL(0794)82-3190

事務局・兵庫県三木市本町2丁目1番18号 三木商工会館内 TEL(0794)82-8880
FAX(0794)82-0909
URL:www.miki-rc.jp E-mail:info@miki-rc.jp

よいことのために手を取りあおう

三木ローター-クラブ2025-2026年度テーマ さりげなく

2025年11月21日

NO. 18 (NO.3283)

今回のプログラム 11月21日 会員卓話 関田大介 会員「自己紹介と趣味の話」

次のプログラム 11月28日 会員卓話 平野薫 大会員「類人猿診断」

本日のソング  それでこそローター-

次回11月28日のお弁当はむさしさんです S.A.A.

ホームページ会員専用
ID:mikirc
PW:miki1230

出席記録	会員数	出席者	当日出席率	メイクアップ他	出席率
本日	50名中				
11月14日	50名中	34名	34/43 79.06%	1名	35/43 81.39%
11月7日	50名中	36名	35/42 85.71%	1名	37/42 88.09%

◇11月7日のメイクアップ出席者 津村敏弘君 (国際奉仕セミナー)

◇11月14日のメイクアップ出席者 津村敏弘君 (国際奉仕事業)



前回例会2025年11月14日の記録

【会長の時間】

まずは、坂井さんのご息のご結婚、誠にめでたうございます。

さて、前回触れた日本の情勢変化についてですが、積極財政への転換など、今後の経済が我々にどう影響するか注視しております。三木の地場産業に関しては、先日の金物まつりが皆様のおかげで成功裏に終わりました。昔、「三木は金物というより『金属文化の町』だ」という提言がありましたが、改めて素晴らしい町だと感じています。

先週の東京出張では、欧米からの観光客の多さに圧倒されました。帰路に立ち寄った北鎌倉は静寂で、古都の独特な雰囲気があり、三木も同様に城下町としての風情があるのだと再認識しました。また前回の大台ヶ原の話に続き、今回は都内から美しい夕暮れの富士山を望むことができました。

来週は福永ガバナー補佐が来訪されます。現在行っているリモートサポート会議についても、機会があればご報告いたします。

【幹事報告】

次週21日(金)例会終了後に理事会を開催しますのでお願いします。

【委員会報告】

出席委員会 本日の出席は会員50名中34名出席で出席率は79.06%です。

親睦委員会 12月5日の家族同伴忘年例会について再度ご案内します。現在、約30名の参加申し込みをいただいています。締め切りは来週ですので、参加をご希望の方は回覧用紙にご記入ください。当日はホテルオークラで料理と、大人も子どもも楽しめるアトラクションをご用意しています。ぜひご参加ください。



ニコニコ箱 (*^-^*)

合計 ¥1,023,000円

稲見 秀穂君 先週は坂井副会長、代理ありがとうございました。
横尾加名子君 誕生日のお祝いのお菓子を有難うございました。本日、行政の用がありますのでちょっと早退します。ごめんなさい。

岡田 紹宏君 昨日の三鴨会で優勝しました！一緒にラウンドして頂いた岡田保さん、藤本迪弘さん、ありがとうございました。また、金鹿会長、納税表彰出席の為、成績発表会に参加できず申し訳ありませんでした。ちなみに納税表彰ではヒマサ金物の佃社長が税務署長表彰を受賞されました。おめでとうございます。

金鹿 功君 今日のお弁当 美味しかったです。完食しました。

津村 敏弘君 11月14日、21日例会所用にて欠席させていただきます。よろしくお願いいたします。

会員卓話 前田 静也 会員「自己紹介と阪神淡路大震災から30年」

昭和20年、神戸市西区平野町に生まれ、来年には81歳を迎えます。のどかな田園で育った身が、この年齢まで元気に過ごし、今もゴルフを楽しんでいることは、若い頃には思いもよらないことでした。

本日は、改めてこれまでの歩みを振り返りつつ、阪神淡路大震災から30年という節目にあたり、当時の経験についてもお話ししたいと思います。

高校は星陵高校に進学し、関西学院大学へ入りました。大学では少林寺拳法に3年間取り組み、心身を鍛える良い経験になりましたが、実際は授業より麻雀に熱中していた典型的な学生でした。卒業後は、百貨店でアルバイトが縁で現ノリタケカンパニーへ入社。名古屋本社、次いで大阪支店での勤務を経て、札幌オリンピックに伴うホテル建設ラッシュの波に乗り、札幌へ赴任することになりました。

3年の予定が10年に延びた札幌での生活は、仕事にも街にも勢いがあり、次々と食器の注文が入りました。夜はすすきので過ごすことも多く、結婚したのもこの時期です。東京転勤後は埼玉県を中心に担当しましたが、札幌とは打って変わって厳しい営業環境で、苦労の連続でしたが、今となっては良い思い出です。

その後、厚生省が三木市に建設する大規模年金保養基地「グリーンピア三木」のホテル部門から声がかかり、神戸に戻れることもあって転職を決意しました。食器は専門でしたが、食材仕入れは全くの素人。大阪厚生年金会館で2カ月、朝7時前から魚や肉の仕入れを叩き込まれました。特に板前の世界は厳しく、仕入れた食材を突き返されることもしばしばで、職人の要求と原価管理の狭間で悩まされました。

開業時には、現在の天皇皇后両陛下をお迎えするという大役を担いました。宮内庁の基準は極めて細かく、魚は漁師名、米や野菜は生産者まで明示する必要があり、野菜は薄い次亜塩素酸ソーダで消毒することまで指示されました。緊張と責任を痛感した出来事です。

その後は企画部門に移り、中森明菜さんのコンサートを成功させました。一方で「西部警察」のロケ誘致では見物客が予想を大きく上回り、周辺住民からのクレーム対応に迫られました。爆破シーンの迫力に加え、石原プロの小林専務が支払いをすべて現金で行っていたことも強く記憶に残っています。

そして、阪神淡路大震災が発生しました。グリーンピア三木は軽症でしたが、まずNHKから宿泊要請が入り、停止していたボイラーを急いで復旧しました。続いて全国から集まる兵庫県警応援部隊の拠点として施設を提供しました。待遇差を出せないため温かい食事を出せず、警察官が冷たい弁当を食べている姿を見るのは辛いものでした。

さらに、神戸市民向けに大浴場を無料開放しましたが、本来500人規模の設備に1500人が殺到し、ロッカーの故障が続発し、対応に約2カ月苦勞しました。救援物資の保管も任されましたが、中には衣類とは呼べないものやゴミ同然の物まで届き、焼却すれば新聞から「善意を燃やす」と批判されました。良いものだけ持ち帰る人まで現れ、最終的には警察が対応する事態にまでなりました。

阪神淡路大震災では6,000人以上が亡くなり、皆さん苦勞されました。それから30年経ち、防災公園で今の天皇陛下が慰霊祭に来られた際のお迎えも経験しました。阪神淡路大震災と東日本大震災の両方を経験し、長い人生の中で忘れられない大きな出来事になりました。本日はありがとうございました。

